

『子どもの“はなまる行動”をふやすコツ』

子どもの「できた！」を見つけてほめることは、成長の栄養になります。
 “はなまる行動”を増やすことが、困った行動を減らす一番の近道です🍊

①行動は3つに分けられる

1 はなまる行動 = ほめて伸ばしたい行動
 (挨拶、片付け、宿題、「ありがとう」と言えるなど)



2 注目獲得行動 = 周囲の関心を引くための行動
 (わざと大きな声、ふざけてお友達の邪魔をするなど)



3 ぼうそう行動 = 気持ちが高ぶって自分でコントロールできない行動

(泣き叫ぶ、投げる・壊す、叩く、寝転んで動かないなど)

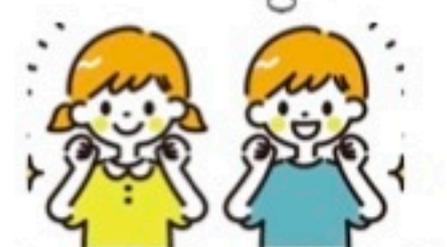
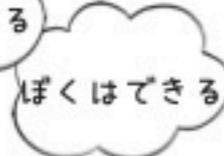


②はなまる行動を増やすコツ

その1. 小さな“できた”を見逃さない

- ・脱いだ服を洗濯カゴに入れられた
- ・食べ終わった皿を台所に運んだ
- ・宿題を1問だけでも取り組めた
- ・ゲームを終われた (いつもより短い時間で切り替えられた。) など

ポイントは、「全部できた」じゃなくてもいいのです。
 “ちょっとできた” “やろうとした” ことも立派な「はなまる」です★



“嬉しい” に繋がった行動は反復して行動しますよね。小さな“できた”を大切にしていくと
 ・親子関係が深まる ・子どもの自己肯定感が育つ ・困った行動が減る
 という流れが自然に生まれます。

その積み重ねが、次のステップ【“知らんぶり”で困った行動を減らす】に繋がっていきます。

次回(10月号)のテーマは「注目獲得行動」への対応です。

子どもは時に「わざとふざける」「大声を出す」など、親の注目を得るための行動をとることがあります。このとき、叱ったり反応したりすると逆に行動が増えてしまうことも…。

次号では、次のステップについて必殺【知らんぶり!】を使って困った行動を減らし、代わりに「はなまる行動」に注目を向けるコツを紹介します。

●「叱るよりも効く」「子どもが落ち着いて過ごせる」ヒントをお届けします♪



～スタッフ紹介コーナー～
 呼称: たなかせんせー
 りかちゃん
 資格: 幼稚園教諭、保育士、児童発達支援管理責任者、ヨガインストラクター
 「毎日の会のジャンケンに全てを賭けてます!」

もあなinsta
 頑張ってます!是非ご覧ください♪



もあなHP
 支援プログラムなど公開しています!

